

日本語中表現文型（二）PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/147/2021_2022__E6_97_A5_E6_9C_AC_E8_AF_AD_E4_c105_147454.htm 002 * ~あげく（に） / ~果て（に） 名：の + あげく（に） ~した：た形
あげくの + 名 果てに 果ての + 名？ 会？ 李：彼はの毒だったなあ。さんざん通ったあげくに、先方から一本で契を断られてね。まあ、の方もさんざんな目にあったよ。今日は本当についてない。 良子：一体全体、どうしたの？ 李：二もんだあげく、局、コンサートの切符が手に入らなかったんだ。？ 解？ これらの文型は「~した果~した」を表しますが、後件では常によくはない果の生を表すところに特があります。「~果てに」も同の意味を表しますが、口で使われることは多くありません。なお、「あげくの果て」は「あげく」のした表となります。文型に「~末に」（文型116）がありますが、この文型は後件でいい果もい果も表すことができます。注意すべき点は、これら果を表す文型は常に文末が完了形「~した」となることです。みいた果 <客的表> あげく（に） <残念な持ち> 末（に） <色々あったが> 国することにめた。 § 例文 § 1 . 口のあげく、殴り合いのけんかになった。 2 . いろいろ考えたあげく、彼とれることにした。 3 . 彼はサラ金からさんざん借金をしたあげく、ついに首が回らなくなって夜逃げをした。 4 . 父はい、病に苦しみいた果てに、亡くなった。 5 . 彼は会社のために身を粉にしている、あげくの果てにリストラされてしまった。 例 1) 苦しした（あげくに / 末に）

、（ついに／局）念のマイホームを手（入れる／入れた）
。2）返答（ ）（する ）あげく、つい嘘をつい（てしま
う ）。 答案：1）末に（ 文型116 ）／ついに（期待し
たことの）／入れた2）に／した／てしまった（不本意の
「～てしまった」）1）末に（ 文型116 ）／ついに（期待
したことの）／入れた2）に／した／てしまった（不本意
の「～てしまった」）100Test 下载频道开通，各类考试题目
直接下载。详细请访问 www.100test.com